

「別れと出会いの季節」といわれる桜の季節が過ぎた。私自身、職場とする大学での卒業・入学行事等に加えて、プライベートでも長女の中学校卒業と次女の小学校卒業が重なり、多くのお別れと新たな出会いを経験した。研究室でも、卒業生と修生生の巣立ちを見送ると同時に、新たな学生さんをメンバーとして迎えた。メンバーの入れ替わりにより研究室に所属する学生さんの平均年齢はほぼ一定に保たれているのに対し、自身の歳は学生さんの平均年齢から離れていくことを、毎年この季節になると改めて実感する。周りは歳をとらないけれど自身のみは歳をとる、浦島太郎の逆バージョンのような不思議な感覚である。

地球上の人類の年齢の分布がさほど大きく変化しないことを考えると、集団の中の個々の年齢は生まれたときには人類の平均値よりはるかに小さいところから出発して、成長とともに徐々に平均値に近づき、やがて平均値を超えていくのは当たり前といえは当たり前

である。もちろん、身近な一人一人とは同じ速度で歳を重ねていくので、今、自身が人類の年齢分布のどのあたりにいるか、などと意識することは普段ならほとんどない。けれども、多くの別れと出会いを経験する桜の季節には、分布の中での自身の位置が不連続に変化したような気持ちになる。

「周りは歳をとらないけれど自身のみは歳をとる感覚」と言えば、ゆっくりと進化を続ける地球にとっては、ほぼ一定の平均年齢を保ちながら地球上に存在する人類はどのように見えるのだろうか、など思いを巡らせていると、元気良く話し掛けてくる次女の声で我に返った。4月に入学した中学校の生活が楽しいらしく、目を輝かせて話をしている。そう、すぐ近くに違う速度で進化（成長）する存在がいて、そちらから見ると私自身があまり変わらない（成長しない）側だった！ と思い至り、おかしくなった。（深澤倫子）

## カラー写真ご提供のお願い

化工誌編集委員会

本誌の目次や編集者の独り言下に掲載するカラー写真を広く会員の皆様からのご投稿をお願いしています。ご投稿いただいた写真は編集委員会で適宜選択して使わせていただければと考えています。ご投稿の際にはごく簡単な説明をつけていただき、電子ファイルの場合には高解像度のもの(300DPI以上)をお送り下さい。

以下のような写真のご提供をお待ちしています。

1. 季節感のあふれた風景・草花・野鳥・動物の写真など
2. 化学に関する写真—カラフルな物質、化学模型、電顕写真、実験機器、化学プラントなど

送付・問合せ先：101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5  
日本化学会 学術情報部 「化学と工業」誌担当  
FAX(03)3292-6319 E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp



ホタルブクロ 務台 潔

### [正誤訂正]

本誌 78 卷 (2025) 4 月号 261 ページ「シアル酸の構造決定にまつわるエピソード」に誤りがありました。お詫びの上、下記のように訂正いたします。

【誤】 4) W. Tony, *J. Mag. Res.* **2019**, 306, 6.

【正】 4) T. W. Keller, *J. Mag. Res.* **2019**, 306, 6.